【 給与支払報告書(個人別明細書) 記入例 】

*-		TTTT	T	\top	+	* 種	別	※ 整	理番	号	*	_	_
H	※区分				(受給	受給者番号)							
							(個人番号)						
支	任							(役職名)					
を受	:17	<u> </u>			п.	(フリガナ)	-					
る	者所						氏						
	//						名						
	種 別 支払金額					控除後の金 控 除 ?	· 額 後)	所得控		合計額	源,	泉徴収	. 税 客
		④内	円®	(10-9		1. 12 I	円			p	内		
L			\perp										
(源:	泉)控除対象配偶者	配偶者(特別)	-			象扶養親		数	16歳ま		障害者		非
の有	無等 老人	控除の額	定	_		男者を除 老 人		その1	扶養業	4	(本人を 特別		他親
(C)	有 従 有 ⑥	(F) 円(G)		人间	_	内①人			E.A.	人⑥	特別内に	その ⁴	人人
<u> </u>				L	_					, L			1
®内	社会保険料等の	の金額 生命保険料 円 ®	トの控	除額		地 円 (P)	震保	険料の控	除額		借入金	等特別哲	空除の
J. 1										7			
(3%)	更)								_				
(310)	新要)												
							7	_					
生命保	a 新生命 ©	円 旧生命 ②	円	介護	相定:	₩ (S)		円 新個人年	A	P	旧個人年	金 😚	
の金額内部	の保険料	保険料の金額		保	険料金額			保険	4		保険料の金額	1	
-		居住開始年月年	T	月			金笔	V J 312 1	住宅借	7.全等	り並和	14	
住宅借		日(1回目)				日 住宅借入 特別控隊 (1回	証分		年末	残高			
等特別の額の	登様 ひたけれる 人	円 居住開始年月 年	-	月	_	日 住宅借入	金等		住宅借	入金等			\dashv
	等特別控除	日(2回目)				特別控隊 (2回	起分 目)		年末(2回	残高			7
(源泉・4	(フリガナ)	区		2677 /	m -t-	1		円 国民年金		ļ.	11-12-17-17		
控除対	象 氏名	分			禺老 計戸			料等の		р	保険料の 所得金		+
配偶	個人番号				11/7	114		基礎控制	余の額		調整控	除額	
	(フリガナ)	区			П	(フリガナ)					∡	5人目以降 扶養親族	拳の控覧 の個人
控	1 氏名	分		,	1	氏名				5	7		
	個人番号			6	\vdash	個人番号							
除社	(フリガナ)	区		歳	1 1	(フリガナ)							
対象	2 氏名 個人番号	分		未	2	氏名 個人番号				5	Γ		
	(フリガナ)	X		満の	\vdash	個八金万 (フリガナ)				15	7		
養	3 氏名	分		扶	3	氏名			••••	D		5 人目以降 の扶養親加	きの16歳
殺親	個人番号			養	l l	個人番号					1	の扶養親加	にの個人
放族	(フリガナ)	X		親松	\vdash	回八田 ケ				D			
灰	4 氏名	分		族	4	氏名				الا خ	1 1		
	個人番号										1		
争未	外死災乙	本人が障害者の寡ヲひの動	7			個人番号	N						
成年	国退害	①特 ②そ と 労		F	P :	途就・	退	職	受	給	者 生 4	年月	H
者	人職者相	別他婦親生	就	職退	職	年	月	日	元	号	年	丁月	
			一			5							+
支	個人番号又は 法 人 番 号												
払	住所(居所)												
344	又は所在地												

個人番号、住所、氏名、フリガナ、生年月日は必ず記入してください。

「普通徴収申請書」に記載した要件(略号A~F)に該当し、特別徴収することが困難な従業員の方がいる場合は、摘要欄にその略号を記載してください。eLTAXや光ディスクで提出する場合も記載が必要です。

他社分給与のある方や中途 就職者等で他社(前職)分を 含んで年末調整をされた場 合は、他社(前事業所)の名 称・給与支払金額・社会保険 料等の金額・源泉徴収税額を 摘要欄に明記してください。 記入がない場合は、他社分給 与なしと判断します。